

令和 8 年度 総合防災訓練概要

	内 容
目的	大規模地震発災直後を想定し、身の安全の確保から避難・安否確認、救出・救助等の災害初期対応を中心に自主防災会での課題を検証し、その対策を図っていくことを目的に実施する。
実施日	令和 8 年 9 月 6 日（日）午前 9 時～正午までの間 ※自治会連合会統一訓練実施日（9 月第 1 日曜日） 暑さを避けたり、地域の都合により、時期や時間をずらしたりして実施していただくことも可能です。 終了時間は各自治会（自主防災会）の判断による。 例：訓練を夜間に実施する、訓練を 10 月に実施する
想定	南海トラフ巨大地震が発生、市内各地は震度 6 強以上を観測、自主防災会は速やかに災害初期対応をする必要がある。
実施主体	各自治会（自主防災会）
重点項目	1 安否確認の徹底 2 家庭での「備え」の啓発 3 共助による救助活動の推進 4 人材台帳の整備 「自主防災会長の手引きについて」 地域防災研修会配布資料をご覧ください。
訓練事例一覧	1 黄色いタオルやカード等を活用した安否確認 2 携帯トイレや簡易トイレの備蓄と取扱い方法の周知（5 回/日×7 日＝35 回/人） （災害時は断水や上下水道管の破損により、トイレが使用不可になる可能性が高いことを説明） 3 飲料水や食料の備蓄に関する周知（7 日分） 4 家庭防災の日の周知及び実施の啓発 （比較的市民の防災意識が強い、総合防災訓練の直後にパンフレットを配布） 5 負傷者の身近なものを使用した止血訓練及び搬送訓練 6 自主防災組織本部の開設・運営訓練 7 家にあるものを持ち寄った炊き出し訓練 8 搬送法等、中学生が主体となって行う訓練 9 防災資機材の点検と取扱い訓練 10 自然水利や防火水槽を利用した、可搬ポンプやバケツリレーによる初期消火訓練 11 避難に支援が必要な方を一時避難場所まで支援者が避難させる訓練 12 災害時、大きな力となる人材（財）を見つけ、人材台帳を作成する （防災士や看護師、消防士などの有資格者）
訓練方法	・「重点項目」に関する訓練を参考に、各自治会（自主防災会）で実施する。 ・ただし、重点項目 1 については必ず実施すること。 ・事例 5 は、自主防災リーダー研修会で受講した止血、搬送法等を地域住民へ指導してください。 ・磐田市内の中学校では適宜ジュニア防災士の資格を取得するよう取り組んでいますので、積極的な中学生の参加について呼び掛けてください。
中止の条件	大雨・洪水等の警報発令及び災害発生のおそれがある場合 （中止の連絡は、いわたホッとメール等によって周知します）

裏面へ続く

